



松原市・多職種による “認知症”学び合いの場 令和4年度報告・交流会

令和5年2月8日(水)
19:00~20:00 WEB開催

本日は勝手ながら20時に終了予定です

タイムスケジュール

時 間	(所要時間)	内 容
19:00~	(5分)	本日の流れの説明
19:05~ 19:20	(15分)	2022年度の取組み報告 報告者：松原市医師会 医療コーディネーター 金田氏
19:20~ 19:35	(15分)	認知症新薬に関する情報提供 「新しいADの薬」 李 利彦先生
19:35~ 19:50	(15分)	交流（簡単なゲーム） ・形容的自己紹介 or ・目指せ！定番王!! 司会：地域包括支援センター社会福祉協議会 佐伯氏
		参加者、主催者からのお知らせ など

令和4年度（第37～45回） 松原市多職種による“認知症”学び合いの場

開催回数：8回＋講演会・報告・交流会開催

参加人数：合計145名(2月の報告・交流会含まず)

開催方法：オンライン10回

開催内容：講演会1回 3事例×2、情報交換会、座談会(3回)

令和3年度（第37～45回）の経過

回	日時	内容	事例提供者	開催方法参加者
第37回	令和4年 4月13(水) 14：00～15：30	★講演会「大人の発達障害」 講師 李 利彦先生		WEB 32名
第38回	5月11日(水) 19：00～20：30	【事例検討】 「認知症疑いの方への受診の促し方」		WEB 19名
第39回	6月14日(水) 19：00～20：30	【事例検討】 同上		WEB 14名
第40回	7月 13日(水) 14：00～15：30	情報交換会 映画「ピア」		WEB 17名
第41回	9月14日(水) 19：00～20：30	情報交換会		WEB 16名
第42回	10月12日(水) 14：00～15：30	【事例検討】 「薬局との連携」		WEB 15名
第43回	11月 9日(水) 19：00～20：30	【事例検討】 同上		WEB 12名
第44回	令和4年1月12日(水) 14：00～15：30	【事例検討】 「周辺情報」		WEB 11名
第45回	令和5年1月11日(水) 19：00～20：30	【事例検討】 同上		WEB 7名
第46回	2月8日(水)	報告・交流会		

第37回の内容

★講演会「大人の発達障がい」

講師 李 利彦先生



キーワード

- ①知的障害、自閉症などの発達障がい
- ②原因は分からないが、脳に何らかの障害がおこるような精神障害
- ③認知症
- ④脳損傷

話し合ったテーマ

- ①今の支援体制のままでの工夫。
- ②他の支援策…



第31・32回の内容

参加15名

『集会できないストレスや悩み、気になることなど話しましょう』

3グループに分かれて、フリートーク

- ・ 認知症の方でもできる体操
- ・ 緊急事態宣言下で、毎月1回の訪問が行えない（ケアマネ）ので生活実態が不明。
- ・ 4本の目薬
- ・ 家族が拒否するため居宅療養管理指導の導入ができない（息子はできてるという）事例
- ・ 外出できない為、認知症が進行してしまった事例（家族がコロナ発症、認知症のある方は無症状で介護が大変だった）
- ・ 認知症の方への感染対策（マスク、防護パネル）
- ・ かかりつけ薬局以外の薬局に相談があった場合の対応
- ・ 薬の服用忘れの対応
- ・ 居宅療養管理指導の手引き
- ・ 豊永さんの話

キーワード

健康で安全な町を守るためのシステム作り コロナによってこれまでの暮らしが変化

第38・39回の内容

話し合ったテーマ

認知症疑いの方への受診の促しかた

アンケート回答

- ・ 具体的な事例や対処法、スタッフの役割分担結果など教えて欲しい。
- ・ 明日から使える知識をたくさん学べた。
- ・ 実際の事例を話し合うことで、自身がどのように考え、協力を要請すべきかあらためて考えることが出来た。
- ・ 薬局に期待する作業について。
- ・ ケアマネの役割の重要性を感じているが、実践に繋ぐ難しさを感じている。



第40・41回の内容

40回

グループディスカッション

『フレイル予防について』等話し合い

アンケート回答

- ・ 漠然と運動するように提案するのではなく、その方の趣味に関連した行動を提案した方が、スムーズに話を進められると聞き、今後に生かしたい。
- ・ 色々な職種の方の意見を聞き、参考になった。
- ・ フレイル防止に対してのかかわり方について勉強になった。

41回

情報交換会



第42・43回の内容



・事例『薬局との連携』 アンケート回答

- ・医師が処方箋にどうやったら指示が出せるのかと疑問に思っておられたことを聞き、とても勉強になった。
- ・医師と薬剤師に気軽に簡単に教えて頂けるツールがあれば良いと思う。
- ・多職種の方が、薬剤師に何を求めているかを聞いてみたい。
- ・65歳高齢者になる前の段階で高齢になると認知症・介護施設利用等を行うようになる教育を両親を手本に行う必要あるとやりやすいのではないかと考える。
- ・『おくすり手帳』を使った情報共有を始めてみようと思った。
- ・他の薬局の取り組みや医師の考えが聞けて勉強になった。
- ・飲み忘れ、残薬を減らす上での一番重要なことがわかった。
- ・医師・看護師・ケアマネのかかわり方
- ・ブラウンバック運動、改めて利用者さんに声かけしてみようと思った。
- ・通院や服薬管理が出来ない方の対応は、多職種の連携が不可欠と感じた。
- ・残薬解消の取り組み、ケアマネさんから見た患者様の要望など勉強になった。
- ・認知症を治療しない人の対応
- ・他薬局の認知症患者様への対応やその人にあった一包化の仕方を学ぶことができ、今後業務に役立たせたい。
- ・コロナ禍でのフレイル予防についてできることが限られている中でもできることから、少しずつ患者様にもお伝えしていけたらと思った。
- ・手帳の話し居宅療養管理者の話し一包化につての状況等参考になった。
- ・認知症の方への支援事例を学びたい。

第44・45回の内容



・事例『通帳などの大事な物の管理ができなくなったケース』

アンケート回答

- ・ケアマネさんから銀行での通帳管理のことなど聞くことが出来他の職種の方の意見が参考になった。
- ・本人がしっかりされていて、認知症の薬が必要なのか、患者が疑問に思われている。このような場合の説明が難しい。
- ・司会・発表を決めるオブザーバーがない場合、チャットの指示をお願いしたい。
- ・討議メンバーが4人と少なかったので地域包括支援センターの方が入ってくれたらと思った。
- ・介護関係者が増えてほしい。
- ・このようなケースについて考えるのが初めてでした。非常に勉強になった。
- ・認知症の方の対応をしていないので、どのような場合に連絡が欲しい等の基準があったら教えて欲しい。
- ・成年後見制度について詳しく知ることができてとても勉強になった。
- ・患者へのサポートで何が優先順位として高いのか、まずどこにつなぐのかなど勉強になった。



今年度もご参加いただきありがとうございました。
ございました。

新年度も引きつづき、たくさんの方との学びを深められますようどうぞよろしくをお願いします。



pixta.jp - 46004617



脱マスクについていけない～